Creative Enzymes®

ネイティブパパイヤラテックス チモパパイン

Cat. No. NATE-0133

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	キモパパインは、パパイヤ（Carica papaya）のラテックスから分離されたプロテアーゼです。これは、脊椎の腰椎椎間板ヘルニアを治療するために使用される□剤です。キモパパインの注射は通常、全身麻□ではなく局所麻□下で行われます。単一の椎間板に□する投与量は2から4ナノカタルで、患者1人あたりの最大投与量は8ナノカタルです。この手技は、ケモニュクレオリシスと呼ばれます。
用途	パパイヤラテックスからのキモパパインは、腸内線虫ヘリグモソモイデスに□する天然植物システインプロテアーゼの□虫効果を評価する研究に使用されました。パパイヤラテックスからのキモパパインは、ウサギのキモパパイン抗体の調製と同定を調□する研究にも使用されました。この酵素は、ビーズから培養CD34+細胞を分離するために使用されました（130単位/mLで2分間、3回繰り返し）。キモパパインとプロナーゼは、人間の腸組織の消化に効果的であることがわかりました。この酵素は、ウサギの肺細胞の消化のために、プロナーゼ、コラーゲナーゼ、エラスターゼ、DNAse、およびカタラーゼと共に、カルシウム・マグネシウムフリーのクレブス血清代替物中で0.05%の濃度で使用されました。また、抗体コートされたマイクロスフェアに結合した骨□から神□芽腫細胞を放出するためにも使用されました。
別名	キモパパイン A; キモパパイン B; キモパパイン S; EC 3.4.22.6; 9001-09-6; キモジアクチン

製品情報

由来	パパイヤラテックス
形態	凍結乾燥粉末
EC番号	EC 3.4.22.6
CAS登□番号	9001-09-6
活性	> 2.0 ユニット/ mg タンパク質
組成	タンパク質、> 75% E1%/280
単位定義	1ユニットは、25°CでpH 6.2の条件下で1分あたり1.0μmoleのBAEEをNα-ベンゾイル-L-アルギニンに加水分解します。

保管・発送情報

保存方法	−20°C